

厚木市都市農業振興計画の施策実績について

本市の将来像である持続可能な都市農業の振興に向けて、課題の解消や目標達成のため施策の体系を、

- 1 生産～魅力あふれる厚木の農業～
- 2 継承～厚木の未来につなげる農業～
- 3 共存～豊かな厚木をつくる農業～ の3つを柱として

各種施策の推進をしており、中間年度までの実績は次のとおりです。

施策の体系 1 生産 ～魅力あふれる厚木の農業～

1 中核的経営体への支援

施策内容	認定農業者制度の周知徹底を図り、意欲ある企業的経営感覚に優れた農業者の確保・育成を推進します。
取組実績	・「厚木市認定農業者確保・育成事業」を令和4年度から実施し、認定農業者の営農を支援するため機械購入を補助 令和4年度20件（予定）

2 エコファーマーの推進

施策内容	環境に負荷を与えない生産技術の開発と普及、エコファーマーの推進等、環境保全型農業を促進します。
取組実績	・環境にやさしい農業を広げるためのエコファーマー認定農業者を支援するとともに、環境保全型農業を促進 令和3年度認定農業者1件

3 農業所得の向上対策

施策内容	年間農業所得（550万円程度）の実現に向けた支援策として、都市農業の特性をいかしたビジネスプラン等を示します。
取組実績	・「農業経営基盤の強化に関する基本的な構想」において、厚木市及び周辺市町村で展開している優良事例を踏まえつつ、効率的かつ安定的な農業経営のモデルを提示

4 安心・安全な農畜産物の供給

施策内容	消費者の安心・安全な食品へのニーズに対応するため、環境保全に配慮した農畜産物の生産・供給を図ります。
取組実績	・環境保全に配慮した農畜産物の生産・供給を図るため、畜産の衛生環境に寄与する資材購入、使用農薬を削減するため天敵農薬の導入、廃ビニールの適切な処理等に補助

5 厚木ブランドの推進

施策内容	地区特性をいかしつつ、厚木の農畜産物の知名度アップを図るため、新たなブランド化を進めます。
取組実績	・農畜産物の新たなブランド化に向けた検討を行い、かながわブランドに8品目登録（大豆、なし、ぶどう、トマト、米、豚肉、鮎、うどん）（令和3年度末現在）

6 6次産業化の推進

施策内容	特産品の加工による付加価値化や生産ロス解消等を図る、6次産業化の推進と加工場の整備を支援します。
取組実績	・神奈川県サポートセンターや農協と協力して、6次産業化を希望する農家に対して支援を実施し推進

7 農地集積の促進

施策内容	各地域に営農組織等の体制づくりなどを進め、農地の集積を促進します。
取組実績	・利用権設定を行い、農地を貸した方・借りた方に農地流動化奨励金を交付することで農地集積を促進。(令和3年度実績7,895千円、令和3年度末農用地利用集積面積147.1ha)

8 基盤整備の促進

施策内容	農地等の整備を促進し、生産性の向上や基幹作物の産地化を図ります。
取組実績	・農道整備8箇所、農業用排水路等整備19箇所を実施(令和3年度末現在)

9 鳥獣被害対策の推進

施策内容	野生鳥獣との棲み分けなどを実現するために、鳥獣被害への対策を継続して講じます。
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ニホンザル追い払い業務 ・ニホンザル個体数調整(管理捕獲) ・広域獣害防護柵の維持管理 ・個人防護柵設置費用の一部補助 ・有害鳥獣捕獲報奨金の交付(ニホンジカ・イノシシ) ・有害鳥獣防除団体への育成交付金の交付 ・JAが実施する鳥獣被害対策事業に対する補助金の交付 ・アライグマ等小動物の有害捕獲(ワナの貸出、捕獲個体の回収及び処分)

■目標指標

項目	策定時 (2016年度)	現状値 (2021年度)	目標値 (2027年度)	達成率
認定農業者数	69 経営体	66 経営体	100 経営体	66%
ブランド品目の充実	3 品目	8 品目	10 品目	80%
利用権設定面積	89.4ha	147.1ha	130.0ha	113%
遊休農地面積	36ha	17ha	30ha	143%
有害鳥獣による被害面積 (※2020年度実績)	6.46ha	0.69ha*	0.65ha	94%
各地区の実情に合わせた アクションプランの策定	0 地区	7 地区	7 地区	100%

施策の体系 2 継承 ～厚木の未来につなげる農業～

1 後継者の育成・支援

施策内容	若い後継者には、就農形態に応じた支援策を講じます。さらに、農家の継承者である退職就農者の確保・育成を図ります。
取組実績	・「経営継承・発展支援事業」を令和3年度から実施し、後継者に対し事業継承に係る経費の一部補助を開始

2 新規就農への支援

施策内容	新規就農希望者へ研修先や農地の紹介、就農後の経営全般へのサポート等の強化を図ります。
取組実績	・新規就農者の相談にきめ細かく対応するとともに、就農初期の経営が早期安定するよう支援（新規就農者48人：令和3年度末現在）

3 女性農業者への支援

施策内容	女性農業者の経営関与と収益増加は比例することから、新たな女性農業者の確保・育成を図ります。
取組実績	・女性農業者支援研修（かながわなでしこ farmers' college）の周知を図り、女性農業者の育成を推進

4 多様な人材の活用

施策内容	援農ボランティア等の確保・育成に努めるなど、多様な人材の活用を図ります。
取組実績	・神奈川県と協力し、「かながわ農業サポーター」を受け入れ、多様な人材の新規参入を促進

5 農福連携の推進

施策内容	農業者と福祉部門との連携による農作業支援や特定子会社の農業参入、農業者による雇用を促進します。
取組実績	・先進事例の視察を実施（平成30年度） ・農業関係団体、障がい者団体を対象とした講習会を開催（令和元年度） ・障がい者就労の共同受注窓口担当者と農業者との意見交換会を実施（令和3年度） ・試験的に農福連携に取り組む農業者及び福祉事業者に対して協力を支給するなど、「農福連携推進事業」を実施（令和4年度）

6 農業への理解の醸成

施策内容	農業や農地が有する多面的機能等の大切さを市民に周知するとともに、農業に市民が参加できる活動を推進します。
取組実績	・厚木市農業まつりやJAあつぎ直売所まつりへの支援を通して、市民に対し地場農畜産物に接する機会を提供するとともに、市民農園での農作業の体験による農業への理解の醸成を推進

7 ICTを活用したスマート農業の推進

施策内容	ロボット技術やICT活用による超省力化や高品質生産に向けた、新たな農業の普及推進を図ります。
取組実績	・「厚木市認定農業者確保・育成事業」を令和4年から実施し、最先端の農業技術の導入を行う場合においては補助率を高く設定する等新たな農業の普及推進を支援（令和4年度2件予定、最先端の農業技術の導入のみ）

8 多面的機能の継続

施策内容	農地は災害に備えたオープンスペースの確保、潤いや安らぎといった緑地空間の提供など、多面的な役割を果たすため、農地の有効活用と保全を図ります。
取組実績	・農地の多面的機能の維持・向上を図るため、事業実施団体へ補助金の交付による支援を実施（「厚木愛川水土里会」「牛久保用水水と緑の会」）（令和3年度までの実績）

■ 目標指標

項目	策定時 (2016年度)	現状値 (2021年度)	目標値 (2027年度)	達成率
新規就農者数	6人（延べ）	25人（延べ）	26人（延べ）	96%
農福連携の実施 件数（施設数）	0件	0件	3件	0%
多面的機能支払 交付金の活用	0箇所	2箇所	3箇所	67%

施策の体系 3 共存 ～豊かな厚木をつくる農業～

1 地産地消の推進

施策内容	地産地消を拡大するため、厚木ブランドの確立や新たな大型直売所の調査研究を進めるなど、地産地消の環境づくりを推進します。
取組実績	・継続して開催している市民朝市及び夕焼け市などを通して、消費者に対して地産地消の機会を提供（市民朝市：開催 231 回、来場者 182,560 人）（夕焼け市：開催 111 回、来場者 62,040 人）（令和 3 年度までの実績）

2 市民との交流の推進

施策内容	市民が農業に親しむ機会の創出と健康長寿社会の実現に向けた取組などを推進します。
取組実績	・農業体験を通じて食や農業に対する理解を深める農協主催の「JAあつぎ親子夢未Kidsスクール」を後援し、市職員を派遣することにより事業を推進

3 体験型農園の推進

施策内容	農業者が作付計画から技術指導まで、一連の工程を管理運営する体験型農園の開設を支援し、農家の安定収入の確保を図るとともに農業者と市民の交流を推進します。
取組実績	・新たに農園を開設した民間事業者 2 団体に対し、厚木市農業体験農園開設事業費補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、農園開設を支援（令和 3 年度までの実績 3 団体）

4 需要者の要望に応えた農畜産物の提供（マーケットイン）

施策内容	安定的な価格で継続取引ができるマーケットインの発想をいかした、新たな販路の拡大を支援します。
取組実績	・農産物等をマッチングする商談会等の情報を農家に提供するなど、マーケットインの拡大に関する支援

5 防災機能の発揮

施策内容	災害発生時において避難場所や復旧用資材置場等、多様な役割を果たすため、継続して保全していきます。
取組実績	・防災協力農地の登録推進を進め、農地の多様な役割の保全を促進（令和 3 年度までの実績 49 件）

■目標指標

項目	策定時 (2016年度)	現状値 (2021年度)	目標値 (2027年度)	達成率
学校給食への地 場農産物の提供 回数	小学校給食 月2回程度 中学校給食 月2回程度	小学校給食 月2.1回程度 中学校給食 月2.1回程度	小学校給食 月4回程度 中学校給食 月4回程度	53% 53%
農業体験型市民 農園数	1箇所	3箇所	5箇所	60%
マーケットイン 契約件数	0件	0件	5件	0%
防災協力農地指 定件数	0件	49件	222件	22%